



那須教育事務所ふれあい学習課
〒321-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9
Tel: 0287 (23) 2177 FAX: 0287 (23) 2193
Mail: nasu-kyouiku@pref. tochigi. lg. jp

Vol. 7 平成23年 1月

社会教育主事有資格者ステップアップ研修まとめ

新しい年を迎えて1ヶ月が過ぎようとしています。この冬は、例年になく厳しい冷え込みの日が続いていますが、お体御自愛ください。

さて、12/2(木)に実施しました「那須地区社会教育主事有資格者ステップアップ研修」には、多くの方に御参加いただき、誠にありがとうございました。この研修は、那須地区に勤務する社会教育主事有資格者の資質向上を目的に毎年行われています。今年度は、那須塩原市立大山小学校 手塚勝男 校長先生の「社会教育主事有資格者の役割について」と題した講演と、大田原市立大田原小学校における学校支援地域本部事業の実践事例の発表後に、分科会を行いました。

分科会では「学校支援ボランティアの導入について」をテーマに、「各学校における学校支援ボランティア導入の現状」と「今後の課題や解決策」について話し合いました。

今回は、その分科会についてまとめましたので、参考にしてください。

●各学校における学校支援ボランティア導入の現状

<小学校>

参加者の勤務している全部の小学校で、学校支援ボランティアが導入されていました。導入例として多かったのが、「学校・学年行事(スキー教室等)」「読み聞かせ」「安全パトロール」「図書室の環境整備」でした。授業の導入例としては「家庭科(ミシン指導)」「生活科(食物栽培)」「算数(そろばん指導)」等が挙げられました。また、導入方法については、その都度募集している学校が多く、窓口も各担当者や担任が担っている場合が多いようです。

<中・県立学校>

「読み聞かせ」や「学校行事」等で導入があり、那須拓陽高等学校では、生徒が小学校に出向いて出前授業を実施しているとの情報提供もありました。しかし、小学校に比べ導入例は非常に少なく、その必要性を感じていないような発言も聞かれました。

●今後の課題や解決策 (●・・・課題、◎・・・解決策)

課題や解決策として、主に次のような意見が出されました。

<地域コーディネーターの人選について>

- 地域のコーディネーターを探してパイプ役をお願いできると良いが、見つけるのはたいへん。
- 地域のコーディネーターを見つけることが、なかなか難しい。
- ◎「大変だ」という前に、大田原小のような地域コーディネーターの組織作りに励むこと。

<学校側の窓口について>

- 学校内での窓口になる教員の負担が大きいのではないかな?
- 「知っている」教員がコーディネートをやり続けると、他の人が分からず異動後たいへんになる。

◎窓口がバラバラなので、やはりまとめ役の教員がいた方がよい。

◎学校の担当者が一人で抱え込まないようにする。

<ボランティアバンク等の資料について>

- ボランティアバンクをもっと活用できるとよい。学校内でも学年・職員により温度差がある。
- ◎担当者がファイルして保存するのは当然だが、システムが「見える」よう人目につくところに貼るなどの努力が必要。
- ◎学年ごとの取組を資料として引き継いでいる。

参加者のみなさん、貴重な御意見ありがとうございました。

